

二中が優勝を飾る！

中学野球秋季大会

中学野球の習志野市秋季大会が10月23日から31日まで、第七中学校ほかで開催された。

3日間のトーナメント戦の結果、二中が優勝を飾った。大会は令和3年度習志野市中学校新人体育大会の代替大会として催された。

決勝戦は順調に勝ち進んだ二中と、特別延長の準決勝戦を制した四中との顔合わせとなった。初回、先攻の四中は3番山口が右前安打で出塁するが無得点。二中では、1番青木は遊ゴロだが、送球エラーで二塁へ。2番都丸は送りバントを成

団体戦 男子五中孝東邦中 中学校強化卓球大会

習志野市中学校強化卓球大会が10月30日と31日、東部体育館で開かれた。学校対抗の団体戦とシングルの個人戦が行われ、男子団体戦では五中、女子団体戦では東邦中が優勝を飾った。トーナメント戦による個人戦では、男子は二中の吉野瑛太選手、女子は東邦中の一色夏実選手が優勝を果たした。大会は令和3年度習志野市中学校新人体育大会の代替大会として催された。

男子団体戦優勝の五中の田中翔キャプテンは「大会で一番意識していたことは、誰かが負けても誰かがそれをカバーしていくことだ。



男子団体戦優勝の五中



女子団体戦優勝の東邦中



個人戦男子ベスト8



個人戦女子ベスト8

うところでした。3-2や3-1というゲームが多く、負けても団体がカバーするという気持ちでした。これからは各個人が力を上げて、5-0で勝てるように練習していきたい」と語った。

女子団体戦優勝の東邦中の一色夏実キャプテンは「昨年から試合に出る機会が多かったので、リラック

スして試合に臨むことができました。団体戦ではダブルスが全試合でストレート勝ちしてくれたため、チーム全体の雰囲気も良くなりました。もっと活躍できるようにがんばります」と話した。

だが、四中は同点で迎えた6回裏、先頭の中田は中前安打、続く鈴木は左前安打。送球もたつづく間に、四中は無死走者二、三塁と好機を迎え、一死後、捕逸で得点する。

6回裏、再び1点リードされた二中は先頭の三井が右前安打で出塁。早川は安打性の中飛だが、四中・中堅手の杉本が好捕し一死となる。しかし、続く中村は左中間方向に長打コースの打球を放つが、四中左翼手・松元は守備位置良く、好捕。続く早川は中前安打で、8番中村がバントで送るが、後続なく、得点を奪えない。しかし5回裏、二中では先頭の青木が左越二塁打。都丸がバントで送ると、大橋は左翼の左を抜く、同点弾を放ち、試合は

振り出しに戻る。だが、四中は同点で迎えた6回裏、先頭の中田は中前安打、続く鈴木は左前安打。送球もたつづく間に、四中は無死走者二、三塁と好機を迎え、一死後、捕逸で得点する。

6回裏、再び1点リードされた二中は先頭の三井が右前安打で出塁。早川は安打性の中飛だが、四中・中堅手の杉本が好捕し一死となる。しかし、続く中村は左中間方向に長打コースの打球を放つが、四中左翼手・松元は守備位置良く、好捕。続く早川は中前安打で、8番中村がバントで送るが、後続なく、得点を奪えない。しかし5回裏、二中では先頭の青木が左越二塁打。都丸がバントで送ると、大橋は左翼の左を抜く、同点弾を放ち、試合は

中が逆転勝利した。優勝した二中の間嶋修平キャプテンは「1回戦から決勝戦まですべての試合で先制点を取れましたが、冷静にプレーできたことが優勝という結果につながったと思います。県大会でも一戦必勝でがんばりたいと思います」と話した。大会結果は次の通り。

▽1回戦
六中 1-0 三中
二中 7-4 一中
四中 15-3 七中
東邦中 10-9 五中
▽準決勝戦
二中 9-2 六中
四中 10-1 東邦中
▽決勝戦
四中 0-1 0-1 0-2
二中 0-0 0-1 2-3

▽女子団体
①六中②東邦中③七中④二
中
▽決勝リーグ
五中 3-2 二中

▽男子個人
①吉野瑛太(二中)②高田瑞貴(二中)③中村和希(五中)④北川直樹(五中)⑤田中翔(五中)⑥大野光貴(七中)⑦松原虎太郎(七中)⑧稲田紳祐(七中)

▽女子個人
①一色夏実(東邦中)②福島瑠夏(五中)③白石真渚(二中)④高林ゆみ(二中)⑤神岡みも(一中)⑥亀田愛穂(一中)⑦玉井花和(五中)⑧永井梨沙子(東邦中)



優勝の二中

きょうこ先生監修 中学受験 合格手帳 2022

2022.1→2023.3

●定価:2,420円(税込) A5変形サイズ
●発行:朝日新聞社 販売:朝日学生新聞社

2021年12月9日発売

ASA(朝日新聞販売所)でお求めいただけます。
詳しくは 今解き教室e-shop

受験生ママパパに必要な情報を一元管理!